

I. 次の楽曲はスメタナ作曲、弦楽四重奏曲「わが生涯より」の一部分である。下記の問いに答えなさい。

B. Smetana

1. ①~⑩の音程名を答えなさい。また、①~⑤の転回音程と同じ音程になるように下の楽譜の各音の上方に全音符で書きなさい。

(音程名)

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩		

(転回音程)

2. 次の(a)~(e)で示される音階になるよう、必要な箇所に変化記号を書きなさい。

(a) ②を下属音とする長音階

(b) ④を導音とする和声短音階

(c) ②を第VI音とする旋律短音階上行形

(d) ②を第III音とする長音階

(e) ②の異名同音を属音とする旋律短音階上行形

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい

1. (1)~(7)の和音について種類、転回形、所属調を右からそれぞれ選び、その記号、あるいは番号を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。

和音	種類	転回形	所属調
(1)	ア. 長三和音		1. ハ長調
(2)	イ. 短三和音		2. ト長調
(3)	ウ. 減三和音		3. ニ長調
(4)	エ. 増三和音		4. イ長調
(5)	オ. 属七の和音		5. ヘ長調
(6)	カ. 減七の和音		6. 変ロ長調
(7)			7. 変ホ長調
			8. 変イ長調
			9. 変ニ長調
			10. 変ト長調
			11. 変ハ長調
			12. イ短調
			13. ホ短調
			14. ロ短調
			15. 嬰ヘ短調
			16. ニ短調
			17. ト短調
			18. ハ短調
			19. ヘ短調
			20. 変ロ短調
			21. 変ホ短調
			22. 変イ短調

2. 次の文中の[]に調名を、《 》には関係調の名称を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。

- a. (2)と(3)を同時に含む短調の同主調の平行調は[]である。
- b. (4)の所属調の平行調の属調は[]である。
- c. (6)の所属調の下属調の《 》はト短調と[]である。
- d. (7)を属音とする短調の《 》は嬰ニ短調である。

III. ①~⑥の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書き入れなさい。

楽語	楽語
① <i>divisi</i>	1. 軽快に
② <i>feroce</i>	2. 素材に
③ <i>rusticana</i>	3. 分けて
④ <i>senza tempo</i>	4. 荒々しく
⑤ <i>stringendo</i>	5. おどけて
	6. 愛らしく
	7. 次第に遅く
	8. 次第に速く
	9. 自由な速さで
	10. 正確な速さで

IV. (A)~(E)の楽曲は何調か、答えなさい。

(A)

(B)

(C)

(D)

(E)

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)